

## 【ぶらぶらトンボ】 観音崎自然博物館に行ってきました ～ 三浦半島の自然に出会う ～

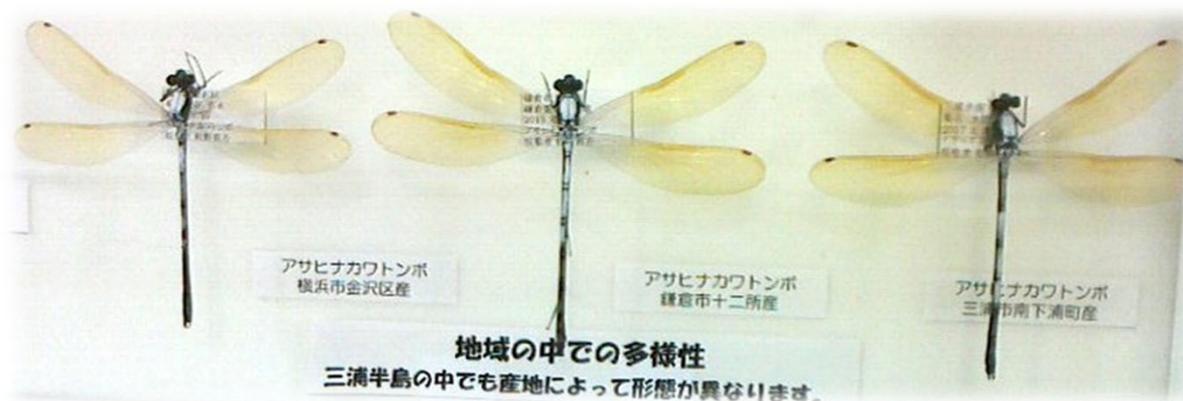
5月初めの快晴、電車で三浦半島に向かいます。途中、浦賀で新鮮な刺身定食で腹ごしらえをしたあとバスに乗り、透き通った海を眺めながらチョット歩いて観音崎自然博物館に到着しました。

ちょうど**今年のトンボと大戦略報告会**でお世話になった**佐野真吾学芸員**によるミュージアムトークが始まるどころでした。



はじめに、学芸員の仕事は3つあって、「**生きものを集める(収集、保管)**」「**研究する(研究)**」「**人につたえる(展示、普及)**」というお話。そして、佐野さんの専門のゲンゴロウなどについてお話を聞いたあとは生きものふれあいタイムになりました。

博物館の展示は、海の生きものが多かったのですが、トンボの展示もありました。**昆虫学者の朝比奈正二郎博士**の名前から名付けられたと思われる**アサヒナカワトンボ**です。ここでは、三浦半島という地域の中においてもトンボの多様性があることを展示していました。



この博物館は、**東京湾と三浦半島の自然を紹介し、人と自然をつなぐ架け橋**となることを目指しているとのこと。生きもの観察、ウォーキングなど**年間約60回ものイベント**を企画していますので、ぜひみなさんも興味のあるイベントに参加してみたいかがでしょうか。



さて、博物館を見学した後、すぐ近くにある観音崎灯台へ足を延ばしました。坂を登った先にあるこの灯台は、**日本初の洋式灯台**で初点灯は明治2年(1869年)1月1日とのこと。灯台の上から、遠くの房総半島までクッキリと見渡せて気分爽快です。(銀)

## 【トンボの困りごと】 自転車があふれています

最近の休日ともなると、たくさんのご家族がトンボみちに遊びに来てくれるようになりました。それは嬉しいことなのですが、**自転車で中まで乗り入れて駐輪(写真上)**されると、**乱雑な感じ**になって、**子どもたちが接触してケガ**をしないかとか、心配です。

少し広がっている**入口の歩道部分に駐輪(写真下)**してもらおうように掲示などをするのが良いのではないかと思案中です。乗り入れ禁止のポール(可動式)なども必要かもしれません。みんなで考えてみましょう。(銀(〜))



## 【シリーズ】 トンボみちの仲間たち

コロナ感染の拡大により、**再び4月は月例活動中止**となりましたので、トンボみちの花と野菜を中心に様子をお伝えします。(撮影: 柴田さん)



**活動予定** ※雨天は1週間延期  
 今月: 5月22日(土) **中止します**  
 来月: 6月26日(土) 9時~11時  
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!  
**公式ホームページをご覧ください**

トンボみちファンクラブ

検索



JFEトンボみち ファンクラブ通信 2021年5月号  
 発行日: 2021年5月19日  
 発行者: トンボみちファンクラブ  
 連絡先: ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています  
 投稿してくれた方にはトンボバッチを差し上げます  
 ※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です

